

# 【外国語・小6・「Unit 6 I enjoyed school.」①】

## 育成を目指す資質・能力

単元目標：家族や先生、友だちや後輩に向けて、小学校の楽しさを知ってもらうために、小学校の思い出について、相手に分かりやすく話したり、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いたりすることができる。

## ICT活用のポイント

個別最適な学びの実現 / 主体的に学習に取り組む態度の育成 等

## 事例の概要

### 【つかむ】

教師の思い出を聞いたり、試しの活動を行ったりして、本単元の学習の見通しをもつ。

単元の課題

自分で決めた相手(家族や先生や友だち)に向けて小学校で一番楽しかった思い出を紹介しよう。

### 【追究する】

学校行事名や行事で行ったこと、その感想などを言えるようにする。ペアやグループで発表を繰り返しわかりやすい表現にする。

### 【まとめる】

自分で決めた相手にわかりやすく一番の思い出を紹介する。「思い出ポスター」にまとめる。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- 児童にかかわりのある複数の教師による単元のゴールの具体的な姿となる発表動画をICT端末に納めておく。
- 児童は自分のペースに合わせて、単元のゴールのモデルとなる動画を繰り返し確認したり、音声を聞いたりする。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- 児童は発表に向けた練習を録画し合い、指導者に送る。
- 指導者は、映像を確認し、ねらいに沿って発表している映像を全体で共有する。

### 【事例におけるICT活用の場面③】

- 児童は、各時間の振り返りの場面で、単元シートに児童は手書きでその時間の振り返りを記入したあと、写真に撮り、指導者に送る。
- 教師は、本時のねらいに沿った視点をもつことができている児童の振り返りの記述を全体で共有する。

# 【外国語・小6・「Unit 6 I enjoyed school.」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】



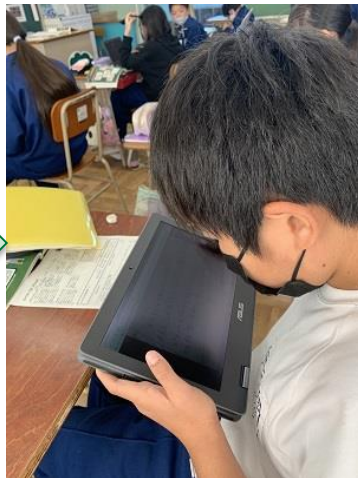
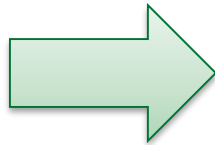
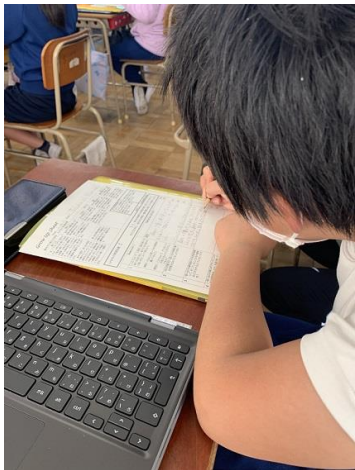
### 個別最適な学びの実現

○つかむ過程で、児童に関わりの深い教師による単元のゴールの姿のモデルとなる映像を繰り返し見ることで、「自分もやってみたい」という課題に取り組む関心・意欲を高めて、単元の見通しをもつことができる。

### 主体的に学習に取り組む態度の育成

- 単元シートの振り返り欄は、児童の発達段階に合わせて手書きしたものを写真データとして教師に送ることで、短時間でクラス全体で共有することができるようになり、「振り返る視点のもちかた」を学ぶことができる。
- 教師は、写真データで一人一人の児童の振り返りを確認でき、紙面による単元シートよりも効率よく評価のための記録を蓄積することができる。
- つかむ過程で「試しの活動」を録画しておき、単元のゴールの姿の録画と比較することで、児童は自身の成長を実感することができる。

## 【事例におけるICT活用の場面③】



指導者側

### この単元で使用したICT端末の機能

児童側

○あらかじめ端末に学習内容等を納めておくコンテンツ機能

○コメント機能  
○共有機能

○動画撮影機能  
○プレゼンテーション機能

○検索機能